

早春に響く珠玉の音色

コンサート
二胡と古箏



フウスイケン
胡翠娟

ウーファン
伍芳

曲目 漁舟歌晩 / 琵琶語 / 二泉映月 / 春よ、来い ほか

令和6年 **3.10** [日] 14:00開演
[13:30開場]

会場: コール田無多目的ホール
地下2階

東京都西東京市田無町三丁目7番2号
(西武新宿線田無駅 北口徒歩約7分)

チケット発売日 2024/01/10

チケット料金 全席自由 (定員160名)

前売り 3,000+送料100円(税込)

当日 3,500円(税込)

お問い合わせ: wufang-office@wu-fang.com

インターネット予約はこちら:

<https://www.tracy-hu.com/>



※未就学児の入場をご遠慮ください。

※周辺にはごくわずかな駐車場がありますので、できるだけ公共交通機関をご利用いただくようお願いいたします。

伍芳(ウー・ファン) 【中国古箏演奏家・作曲家】

中国・上海生まれ。9歳より中国古箏の第一人者、王昌元氏より手ほどきを受ける。その後、中国で最も難関といわれる上海音楽学校に入学。古箏を中心にピアノや音楽の基礎理論などを幅広く学ぶ。1990年7月同校を首席で卒業し、来日。

1996年9月に東芝EMIよりデビュー。日本における中国楽器ブームの先駆けとなる。南こうせつ、東儀秀樹、溝口肇など数々のアーティストと共演。「トップランナー」「徹子の部屋」など多数のテレビ・ラジオ番組に出演のほか、朗読、狂言、人形浄瑠璃文楽、和太鼓とのコラボレーション、皇太子様、雅子様(当時)へ向けての単独での御前演奏等々、意欲的な演奏活動を行っている。さだまさし原作の映画「精霊流し」の音楽にも参加。グラミー賞を受賞したサクソ奏者、KENNY G のジャパントアール全公演にゲストとして呼ばれる。

2010年上海万博においては、オリジナル曲を中心とした音楽劇「彩虹橋」で公演を行い、故郷である上海で自身の音楽活動にエポックを画するようなイベントとなる。

2011年4月10日～2015年9月ABCラジオ「伍芳(ウー・ファン)のふらっと♪阪神沿線」、2016年4月～2017年8月FMCOCOLO「中国国家観光局 ウー・ファンといっしょに中国へ」のナビゲーターを務める。

2015年1月14日震災復興への祈りをこめたオリジナル曲「あの一とともに」を発表。

同年11月神戸市文化奨励賞を受賞。これまで13枚のアルバムを発売。2019年3月20日に通算14枚目のアルバム「KOTOKOTO FANTASIA～箏箏夢絃～」を発売し、それをきっかけに25絃奏者久野木史恵と二人で「KOTOKOTO」ユニットを結成。

2023年3月12日より宇治興聖寺に通じる参道「琴坂」をテーマにしたオリジナル曲「琴坂～KOTOZAKA～」を全世界へ配信。

近年、教育活動にも積極的に取り組み、古箏教室を開き古箏の普及にも努めている。中国の古典、現代曲だけにとどまらず、様々なジャンルに挑戦する一方で、他のアーティストへの楽曲提供など、作曲活動にも力を注ぐ。



伍芳(ウー・ファン) www.wu-fang.com

胡翠娟(フウ スイケン)/ TRACY HU 【台湾の二胡演奏家】



胡翠娟(フウ スイケン) www.tracy-hu.com

台湾生まれ。7歳から二胡を学び始め、音楽専門学校を卒業。学生時代には西安、北京など遠くの地に足を運び、多くの伝説的な音楽巨匠に師事し、二胡、板胡、広東高胡などの伝統楽器に精通している。中央放送局国楽団と台北市立国楽団などの伝統楽器によるオーケストラで二胡奏者として活躍し、卓越した音楽的才能を披露した。

1997年から、彼女は国楽団とともに海外で演奏を始め、中国、ヨーロッパ、米国、オーストラリアなどの国に及んでいる。あらゆる新たな音楽に挑戦しながら、海外の音楽祭や芸術祭にも参加している。また、台北国家コンサートホールで「秦風」と「有板有演」という二つのリサイタルを開催することで、観客に深い印象を残した。

2005年に、彼女は日本の二胡奏者の賈鵬芳さん、オカリナ奏者の宗次郎さん、ピアニストの西本理恵さんを台湾に招き、国家コンサートホールで盛大な「古風コンサート」を開催した。胡氏は二胡演奏の才能に加えて、何度も音楽エージェントを務め、中国の演奏家を台湾に招き、音楽芸術の交流と推進に力を入れている。

2018年に家族とともに日本に移住。現地の文化、芸術、パフォーマーたちとの交流を深める夢を持ち、新しい演奏スタイルを多くの方にお届けすることを目指している。彼女の音楽は演奏技術を披露するだけでなく、文化間の感情伝達でもあり、心を込める音楽を通して、素晴らしい人生の詩編を演奏している。